

## 平成29年度版 改善計画

学校名： 県立巨摩高校

No	項目	現状と課題	H30年度に目指すべき状態	①H29年度に実施する内容 ②H30年度に向けて検討する内容	達成状況
1	会議等の効率化	会議で決定すべきことを明確にしないまま会議が進行されており、情報交換会のようなとりとめの無い運営がなされている。	○職員は決定すべきことを明確にして会議に臨んでいる ○会議の終了時間が設定されている	①左記二点を試験的に実施する ②削減できる会議の検討	
2	学校行事の負担軽減	特定の時期に公式戦や学校行事が集中している	○5～6月部活公式戦学園祭等集中期の多忙感が解消できている	①職員の手を煩わすことなく生徒主体で行事が運営出来る体制をつくる 全職員で行事運営を行う体制作り ②行事分散化の検討	
3	校内組織の見直し	分掌の数が多く学校規模に見合っていないことを受けて今年度分掌改編に踏み切った。大きな改革であるため未だ十分機能していないのが現状。	○H29に改編した分掌が機能している	①業務引継書の作成で抱えている業務の洗い出しを行う ②分担業務の見直しを行い負担格差の改善を検討する	
4	業務の効率化	情報共有が十分なされていないため類似した業務を重複して行っている	○アクセスしたい情報が明確にされ共有されている状態	①共有したい情報の洗い出し	
5	部活動の負担軽減	年間80日以上以上の週休日勤務をしている部顧問が10名いる	○集中した短時間の練習に前向きに取り組んでいる状態 ○きずなの日完全実施	①集中力を高めた短時間の練習で効果をあげる努力と下校時間の徹底 ②休日の部活動時間の上限を検討する	
6	地域人材の活用	文化部、体育部あわせて12名の外部指導者を活用している			
7					
8					

※達成状況：次のA～Dで評価し、各年度末に県立学校は県教育委員会へ、公立小中学校は市町村教育委員会へ提出する

A 達成できた B ある程度は達成できた C あまり達成できなかった D 達成できなかった